

平成29年7月12日

各位

会社名：日本エンタープライズ株式会社
 代表者の役職名：代表取締役社長 植田勝典
 (コード番号 4829 東証第一部)
 問合せ先責任者：常務取締役 田中勝
 TEL：03-5774-5730

貸倒引当金繰入額の計上、平成29年5月期の通期連結業績予想と実績値との差異 及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年5月期連結累計期間におきまして、貸倒引当金繰入額を計上するとともに、平成28年7月12日に公表した平成29年5月期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせいたします。また、個別業績における前年実績値との差異についてもあわせてお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社連結子会社の取引先に対する一部の未回収債権について平成29年5月期第3四半期決算において、貸倒引当金繰入額10百万円を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、当該未回収債権の回収可能性について、その後の回収状況等から保守的に検討した結果、平成29年5月期決算において、当該未回収債権の全額を貸倒引当金に計上することとし、貸倒引当金繰入額98百万円を販売費及び一般管理費に追加計上いたしました。

2. 連結業績予想と実績値との差異

平成29年5月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
予想値(A)	百万円 5,300	百万円 330	百万円 350	百万円 135	円 銭 3.33
実績値(B)	4,838	192	229	99	2.45
増減額(B-A)	△461	△137	△120	△35	
増減率(%)	△8.7	△41.8	△34.3	△26.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年5月期)	5,530	219	252	327	8.07

<差異の理由>

売上高につきましては、コンテンツサービス事業における広告効果の低下が主たる要因となり、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、コスト削減に努めましたが、貸倒引当金繰入額を追加計上したことが主たる要因となり、当初予想を下回る結果となりました。

3. 個別業績の前年実績値との差異

平成 29 年 5 月期通期個別業績と前年実績との差異(平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (平成 28 年 5 月期)	百万円 3,041	百万円 110	百万円 11	円 銭 0.28
当期実績値(B) (平成 29 年 5 月期)	2,216	142	13	0.33
増減額(B-A)	△824	31	2	
増減率(%)	△27.1	28.6	19.0	

< 差異の理由 >

当事業年度における業績につきましては、予想を含めて開示を省略しておりましたが、以下の理由により、前事業年度の実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、開示いたします。

売上高につきましては、ソリューション事業における広告代理サービス(店頭アフィリエイト)の協業先である携帯電話販売店での販売施策の変更等の影響が主たる要因となり、減収となりました。

経常利益につきましては、広告宣伝費の削減が主たる要因となり、増益となりました。

当期純利益につきましては、税金費用の減少に伴う利益の増加が主たる要因となり、増益となりました。

以 上